



2月えんだより

社会福祉法人こぼと会
あおぞら保育園
多摩市落合 1-5-16
☎042-375-1330

2月の予定

日	曜日	行事予定	対象
6	木	避難訓練	全クラス
15	土	保護者会	各クラス
18	火	誕生会	全クラス

おたんじょうび おめでとう



保護者懇談会

今月 15 日（土）に保護者懇談会を行います。全体会を設け、来年度のクラス発表等皆様と情報の共有を図っていきたくと考えております。詳細については後日早めにご連絡いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもの成長と大人の成長

先月は 2 歳児を中心とした保育の深化についてお話させていただきました。紙面の都合上限定的ではありましたが、もちろんすべての年齢クラスで職員は、保育士としてのすべてをかけて子どもの成長に与すべく日々奮闘しております。

そういった一丸となる職員集団を形成することは容易いはずもありません。一人一人の子どもの成長と自分の成功体験が重なっての実感がつもり重なっての故でしかありません。

人間はだれしも、自分の実体験をもとに予想をしていきます。いわゆる、「見通し」ってやつです。それは、個人的で主観的なものでしかないのですが、基本的のこれなしではやっていけないのが普通の状態です。ですので、見通しが壊れることは大変不安になりますし、できるだけこの見通しの中で処理したいと思うのが普通感覚なのです。これが経験則であり、自分の人生が無意識のうちにあぶりだされてしまうものなので、表現するのは怖いものになりますし、変えることはとても難しい理由なのだと思います。

私たち職員も、まったく同じ状況です。ただ幸いなことに、子どものより良い成長を願うために、根拠を軸に置いていくことにより、職場では経験則に頼らない保育をすすけることができます。仕事ですので、そう落とし込みやすい状況でもありません。そういった環境により、職員一人一人が、エビデンスをもとに考える習慣が身につけやすく、変化を受け入れやすい環境が整ってきているのだと痛感させられるのです。

はたして、子育てはいかに？と思えば、自分自身の過去を考えてもそんなことなどつゆ知らず、自分の経験則に則ってものがき苦しんできました。夫婦お互いの自分の範囲内のことなので、そりゃーうまくいくことよりうまくいかないことのほうが多いのはある意味必然だったのだとよく思い出します。

責めても、怒っても何も感情では生み出すものがないといまさらながら反省の日々であります。